

令和7年度 第1回図書館協議会 会議録

- 日 時 令和7年6月10日(火) 15:30~16:45
- 会 場 市立図書館 会議室
- 出席者 委員
会長ほか5名
事務局
教育長、教育部長、読書推進課長、読書推進担当主査、学校図書館・施設計画主査、
図書館長(指定管理者)
- 傍聴者 1名

<次 第>

- 1. 開 会
 - 2. 会長挨拶
 - 3. 教育長挨拶
 - 4. 議 題
 - (1) 報告事項 ア 令和6年度 図書館の事業報告について
イ 令和7年度 図書館の事業計画について
 - 5. そ の 他
 - (1) 情報提供 ア まちじゅう図書館とヒアリング結果報告
イ その他
 - ①図書館システムの更新 使用システム・変更機能
 - ②図書館改修基本計画策定 実施事業者・スケジュール
 - ③島松複合施設 進捗報告
 - ④柏陽複合施設 ブックステーションの設置(予定)
- 以上4点について、事務局による口頭報告を行った。

6. 閉 会

◆質疑

4. 議題 (1) 報告事項 ア 令和6年度 図書館の事業報告について

A委員 電子図書館の貸出冊数は全体の貸出冊数に含まれているか。

事務局 含まれていない。電子図書館の貸出冊数は増加傾向にあり、公共図書館・学校図書館の両方で利用可能となっているが、そのまま紙の図書の冊数に含めるとそれまでの統計との比較が分かりにくくなるため、令和7年度分の報告時には工夫して表記したい。

B委員 電子図書館サービスの認知度はどうか。

事務局 認知がされていないとの認識のもとで、新着図書の案内を電子図書館のトップページに掲載するなどの工夫を行っており、認知度が少しずつ上がってきていると考える。

C委員 今後は電子書籍を増やし、紙の図書を減らしていく流れになるのか。

事務局 併用で進めていかなければならないと考える。

事務局 保存スペースの問題もあるため、紙の図書は計画的な除籍が必要となる。

D委員 便利な電子書籍と併用する形で、特に絵本などは、紙の図書ならではの体全体で感じられるワクワクする体験も残ってほしい。

E委員 入館者数が増加しているにもかかわらず、貸出冊数が減少しているのはなぜか。

事務局 図書館の利用方法が多様化し、本の貸出以外の来館が増えている。

E委員 本がリクエストできることは、どれだけ認知されているか。また、16歳以上の利用者が少ないという認識だが、現状はどうか。

事務局 リクエストは市民に浸透していると考えている。また、特にテスト時期になると、中高校生が多く来館する。グループ学習なら休憩コーナー、静かに勉強したい場合は集会室を利用している。憩いの場としても図書館が機能していると考えている。

E委員 貸出冊数を増やすことと、憩いの場として機能すること、どちらを重視するか。

事務局 両方がうまくいくといいが、イベントなどにより多くの人に図書館を利用してもらうことを考えていきたい。

事務局 コロナ禍により貸出中心の利用スタイルから変化があった。

B委員 外国人の利用はどうか。図書館のPRをしているか。

事務局 留学生の寮が近くにあり、来館した寮生対象に図書館の使い方のレクチャーを行ったことがある。今後は利用者カードの登録会を行うことについて進めてもらっている。市の企画課で外国人向けの図書を選び図書館蔵書とする事業が進んでおり、外国の方に図書のPOP（PRカード）を書いてもらう企画も考えている。

4. 議題（1）報告事項 イ 令和7年度 図書館の事業報告について

E 委員 学校のタブレットに余剰がある場合、貸出用として図書館内のサービスに利用できる可能性はあるか。

事務局 すでに貸出用のパソコンが4台ある。うち3台はタブレットに変更予定である。利用は1回30分、延長して1時間までとなっている。

E 委員 周知は行っているか。

事務局 大々的に使ってくださいといった宣伝は行っていない。

事務局 利用者の所有するスマホ等で館内 Wi-Fi を利用することができる旨の案内が優先されている。

E 委員 子どもがインターネットを使える場所として、もう少し PR があってもよい。

5. その他（1）情報提供 ア まちじゅう図書館ヒアリング結果報告

C 委員 取組が知られていない。花は目にするからすぐわかるが、読書はなかなか目にするのがないので、このような形で発信していかないと思う。以前に参加施設だったカフェでは、色々な本のイベントを打ち出していて、自分もビブリオバトルを何回も実施した。その繋がりも、今も読書飲み会という集まりで、居酒屋に各自10冊程度持ち寄って話をしている。参加施設にも温度差はあるだろうが、本のまちを打ち出していく何かを考えていく必要がある。

事務局 周知のためには、ある程度の参加施設数は必要とのまとめがあった。金融機関等の事務所など、職員が入れ替わると趣旨がわからなくなるところもあるため、事務局である恵庭市が定期的な説明を行うことも必要で、参加施設にまかせきりでは持続は難しいとの調査結果であった。

（閉会）